

魚類図鑑 (その3)

アカザ	カワヨシノボリ
	
ナマズ目アカザ科	スズキ目ハゼ科
<p>河川の上・中流域にすむ。産卵期は5～6月で、瀬の石下に寒天質に覆われた卵塊を産着させる。瀬の石陰に潜んでいて、石の間をつたいながら、摂餌行動をする。餌は主に水生昆虫。河川改修などで河川が荒れるといなくなるので、自然度の判定の良い指標になるという。</p>	<p>河川の中流から上流にすみ、平瀬の礫底を好む。近縁のヨシノボリは両側回遊をする。カワヨシノボリは一生を淡水域で過ごす。産卵期は6～8月で、礫下に産み付けた卵を雄が保護する。水生昆虫を食べる。</p>
ウナギ	ウグイ
	
ウナギ目ウナギ科	コイ目コイ科
<p>成魚は川・湖・水田などに広くすむほか、養殖池で多く飼われている。主に夜間に活動し、小魚・貝・昆虫・甲殻類などを食べる。産卵は琉球列島南方の中層と推定されている。10～5月に川へ遡上する。</p>	<p>川・湖・池沼など、どこにでもすむ。川のものには幼期に海へ下る降海型と、一生を淡水中で送る残留型とがいる。産卵期は3～5月で、瀬の砂礫底で群れて産卵する。雑食性。</p>